

参考資料 ③

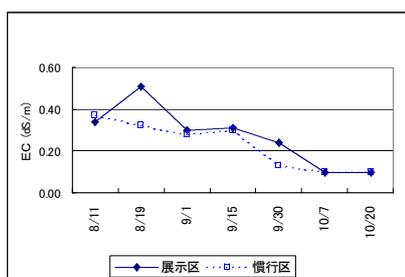
細ネギ栽培における窒素単肥による施肥コストの削減

長年にわたりハウス土壌への塩類集積が進んでいる中、リン酸、加里、等の養分を含む元肥を施用することで、さらに塩類が上乘せされたり、塩基バランスの崩れが発生したりする圃場も少なくない。

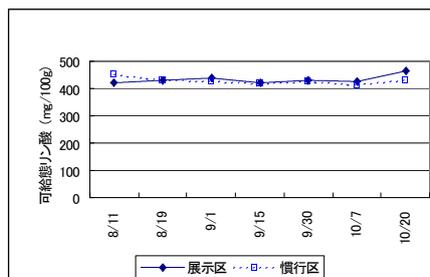
そこで、窒素単肥が細ネギの品質・収量や土壌中養分の推移に及ぼす影響を調査し、塩類集積土壌における窒素単肥の可能性を検討したので紹介する。

・展示内容と結果

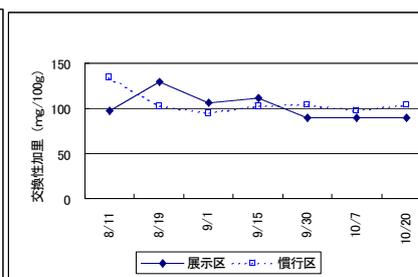
	展示区 (1 a)	慣行区 (1 a)
肥料名	L P コート (100日タイプ)	有機入りイチゴ配合 7 7 4
肥料成分 (N-P-K)	4 0 - 0 - 0	7 - 7 - 4
施用量	17.5kg/10a	100kg/10a
施用分量 (N-P-K)	7-0-0 kg/10 a	7-7-4 kg/10 a
肥料単価	2 1 8 4 円 / 1 0 k g	2 5 2 0 円 / 2 0 k g
実質肥料代	3 8 2 円 (対慣行比30%)	1 2 6 0 円
栽培概要	播種:8月13日 収穫:10月7日～ 品種:日産種苗 N S 15号 消石灰100kg/10 a 施用 追肥無施用 前作播種前にバーク堆肥300kg/10 a 施用	
収量	1 5 0 k g / a	1 5 0 k g / a
品質	葉枯れ無し、病害発生無し 葉の色、硬さも両区間で差は無し	



土壌 EC の推移



土壌中リン酸含量の推移



土壌中加里含量の推移

・まとめ

窒素単肥のみでも慣行肥料と同等の収量、品質が得られた。土壌中養分の推移も慣行肥料と同様であった。緩効性肥料を利用した窒素単肥の肥料代は、慣行肥料の30%に抑えることができた。

以上のことから、リン酸や加里が過剰に集積したハウス土壌では、窒素単肥のみでも細ネギが栽培できることが明らかになった。しかも、元肥の肥料代を70%も削減できる。